

紀要『環太平洋文明研究』投稿規程

1. 名称

環太平洋文明研究 (Ritsumeikan Pan-Pacific Civilization Studies)

2. 目的

本紀要は、立命館大学環太平洋文明研究センター（以下、「本センター」という）における研究活動を発展させることを目的とする。

3. 執筆・投稿資格

紀要に投稿できる論文等の執筆者は、立命館大学の教員（有期限雇用の教員を含む）または本センター客員研究員、および大学院生（原則として指導教員の推薦を要する）。上記以外の学外者については、編集委員会の承認を得たうえで投稿を認める。

4. 審査

投稿、依頼を問わず、寄稿された原稿を掲載するか否かは編集委員会で決定する。研究論文は査読者による審査を受ける。なお、原稿は採否にかかわらず返却しない。

5. 原稿の種類

- (1) 研究論文：未発表のオリジナルな原著論文であり、査読を受けたもの。
- (2) 研究報告：未発表のオリジナルな原著論文であり、査読を受けていないもの。
- (3) 研究ノート：研究・調査の中間報告あるいは短報。
- (4) 書評：内外書籍などの紹介と批評。
- (5) 資料と通信：講演会、シンポジウム、研究会等の活動記録。

（以下、(1)～(5)をまとめて研究論文等という）

その他、上記の分類に該当しない論文や企画でも、本センターにおける研究活動の発展に寄与しうる有意義なものであれば、編集委員会で検討する。

6. 原稿の分量、体裁

(1) 分量

- ①研究論文：和文の場合、本文・注を合わせ16,000字～24,000字（図表・写真を含まず）。英文の場合、5,000語～7,000語。
- ②研究報告：和文の場合、本文・注を合わせ16,000字～24,000字（図表・写真を含まず）。英文の場合、5,000語～7,000語。
- ③研究ノート：和文の場合、本文・注を合わせ8,000字～16,000字（図表・写真を含まず）。英文の場合3,000語～5,000語。

④書 評：和文の場合、4,000 字程度。英文の場合 1,500 語程度。

⑤資料と通信：和文の場合、4,000 字程度。英文の場合 1,500 語程度。

原稿には、和文と英文の要旨・キーワードなどを添付して提出する。原稿の執筆に関する詳細は、別途「執筆要領」において定める。

(2) 作成ファイル形式

①文字（テキスト）：なるべくマイクロソフト・ワード形式あるいはリッチテキスト形式で作成する。これ以外のものを使用する場合は編集委員会に事前に相談する。

②図・写真：できる限りデジタルデータで入稿する。ワード等に貼りこんだ図は印刷データとして使用できないため、入稿時には元データを提出する。イラストレーター作成の図は、ai 形式データで提出する。写真などの画像データは、原則として tiff、psd 形式で提出する。元の画像ファイルは、使用サイズでカラー頁 350dpi、モノクロ頁 400dpi 以上であること。

③本紀要の体裁

本紀要は B5 版で、1 ページの版面はタテ 207 ミリ、ヨコ 136 ミリである。

論文は 1 段組みで、1 ページ 39 字×35 行（1365 字）である。

研究ノートは 2 段組で、1 ページ 20 字×38 行×2 段（1520 字）である。

④原稿執筆に関する「執筆要領」は本センターウェブサイトよりダウンロード可能。

7. 原稿の提出

投稿原稿は、原則として電子メールおよびファイル転送サービスにて環太平洋文明研究センター事務局に送信提出する。入稿時に必要なものは以下のとおりである。また、提出された原稿は返却しないため、執筆者でオリジナルデータを保管すること。

(1) 本文、図・写真、表のデータ。ファイル形式は上記に従うこと。

(2) レイアウト見本。編集委員会一任の場合はその旨を明記すること。なお、レイアウトに貼り付けた図・写真・表は入稿データとして使用できない。必ず別ファイルで提出すること。

(3) 同意書。必要項目を記入し、氏名を自署のうえスキャンし PDF にする。

8. その他の注意事項

掲載された研究論文等の著作権は、原則として編集委員会に帰属する。本紀要に掲載された研究論文等を転載する場合や著書などとして公刊する場合は、事前に環太平洋文明研究センター事務局に連絡し了承を得ること。また、本紀要に掲載された研究論文等に関しては、編集委員会の判断により、原則として執筆者の了解を得たうえで本センターが認めるウェブサイト等のメディアにおいて公開することができる。

本紀要に掲載された研究論文等の執筆者には、掲載誌 1 部を贈呈し、立命館大学リポジトリの掲載 URL を送付する。